

令和2年度第1回箱根町行財政改革有識者会議での主な意見一覧  
(議題1 行財政改革アクションプランの令和元年度取組状況について)

項目	意見	発言者
プランの実行について	<p>アクションプランの実行は、固定資産税超過課税の実施とセットになっています。そのため、しっかり取り組むことは約束したことです。着実に実行していただきたいと思います。</p> <p>プラン開始から3年が経過したことや、昨年度の台風、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画どおり取り組むことが困難と考えられる推進項目があるかもしれません。前向きに捉えられる修正であれば問題ないと思いますので、役場側から提案があれば、例えばこの推進項目は終了するが、代わりに効果額の大きい推進項目に取り組むことや、更に前向きな取組みを位置付けたい等を考えても良いと思います。</p> <p>計画が終了する令和4年度まで期間がありますので、より効果が上がるプランにしていく方が役場にも町民にもメリットがあるため、そのように運用していただければと思います。</p>	田中座長
導入を見送ることとした取組みについて	<p>【No.20 すずき草原の駐車場協力金等による有料化の検討】</p> <p>迷惑駐車や騒音等の増加、近隣住民・関係地権者との係わり等も踏まえて総合的に判断した結果、見送ったのは承知しますが、課題があることは計画当初から想定されており、それでもトータルで考えて取り組むべきと判断し、アクションプランに位置付けたと思います。</p> <p>収支改善効果額の出る取組みでもあり、結論を出すには若干、拙速な気もします。もう少し粘り強く、積極的に検討してほしいと思いました。</p>	嶋矢委員
取組みの評価について	<p>【No.68 共通事務及び簡易事務の集約化】</p> <p>・この項目の計画内容は、平成29,30年度は「調査研究」で、令和元年度は、その結果を基に「ルール作り」をするとなっていますが、具体的な取組みが見えません。行動があつて初めて評価できるのであつて、令和元年度までの取組みでB評価は甘いのではないかと思います。[田代委員]</p> <p>・庶務事務システムの導入により事務の集約や効率化を図っていることを考えると、取り組んでいるが目標の人員削減に至らなかったと考えられるので、そう考えると、辛めの評価かと思います。[嶋矢委員]</p> <p>(上記の意見を踏まえた座長からの意見)</p> <p>評価が甘いという、委員からの意見がありました。取組みを続けられないのであれば進捗度をCやDとして終了する方法もありますが、Bとして今後も続けるのであれば、諦めていない意味合いで課題と改善策を示すことがセットになると思いますので、検討していただきたいと思います。</p>	田中座長